

## 舗装管理システム 共同研究スタート

大成ロテックと  
越交通運輸大学

大成ロテックは、ベトナム交通運輸大学と舗装マネジメントシステムに関する共同研究に乗りだした。舗装の上を車で走行した際の乗り心地を測定する同社開発装置「STAMPER II」のベトナムでの適用性を確認すると同時に、舗装の補修・修繕工法について研究開発を進める予定だ。



9日にベトナム・ハノイ市で共同研究契約の調印式を行った。写真。西田義則社長は「伝統のあるベトナム

交通運輸大学との共同研究を通じ、両国の技術、人的交流をさらに深め、ベトナムの発展に貢献していきたい」とあいさつした。

研究期間は21年までの3年間。同社が海外の大学研究機関と共同研究を行うのは初めてという。同社は5月に同大学と研究協力の覚書を交わし、舗装マネジメントシステムや最新の舗装技術に関するワークショップを開催するなど交流を深めていた。